

日本プライマリ・ケア連合学会
四国ブロック支部 活動報告

発行人：阿波谷, 大原, 板東, 川本, 澤田
事務局 〒761-2103
香川県綾歌郡綾川町陶 1720-1
綾川町国民健康保険陶病院気付
副支部長/事務局長 大原昌樹・土肥宛
Tel. 087-876-1185 Fax. 087-876-3795
E-mail oharamasaki@gmail.com

★1 第19回日本プライマリ・ケア連合学会四国地方会/令和元年度香川プライマリ・ケア研究会/
第26回四国地域医学研究会 合同学術集会 開催のご案内

大会長 小豆島中央病院 佐藤 清人

来たる11月2日、3日に四国地方会を香川県で開催させていただきます。

会場はサンポートホール高松の5階 54会議室です。

今回は「新時代に向けての総合診療」をメインテーマとし、1日目は前半に一般演題の発表を行います。四国四県が多職種の皆さまから、予想を上回るご応募をいただき、開会を10分早めましたが、タイトなスケジュール(質疑応答込みで1演題8分)になってしまい、発表者や座長の先生方には大変ご迷惑をおかけしますが、ご高配のほど、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

後半は、特別講演の第1部として、綾川町国民健康保険陶病院内科 コルビン真梨子先生から、「英国の医学教育・臨床研修と医療制度」と題し、実体験に基づき、英国の医学教育・臨床研修と医療制度についてご講演いただくこととしております。

特別講演の第2部は、香川大学医学部循環器・腎臓・脳卒中内科学教授 南野哲男先生をお招きし、「地域で取り組む循環器疾患発症予防」と題し、新時代を担う子供たちの生活習慣病、特に家族性高コレステロール血症(FH)についてご講演いただきます。香川県では、香川県内の大学および基幹病院・地方自治体・香川県医師会と協力し、香川小児生活習慣病予防検診を実施しており、小児生活習慣病に関連する血液検査を実施するのみならず、小児FHの患者からFHの親も発見していく世界初の“リバース”カスケードスクリーニングも併せて行っており、遺伝子診断も含めた早期診断と早期の治療開始に向けた“オール”香川での取り組みに関して、将来的に期待できる成果や現状をご紹介します。

講演のあと支部総会を行い、支部総会終了後、19時15分より、懇親会を地方会会場から徒歩で約5分の会場で開催しますので、皆さま奮ってご参加ください。

2日目はポートフォリオ発表会と四国プライマリ・ケア交流会を企画しておりますので、専攻医・研修医・学生の皆さまは是非ご参加ください。こちらはまだ余裕がございます。

参加の申し込みは、<https://scha.jp/about/other/>から申込用紙がダウンロードできますのでご利用ください。

一人でも多くの方々にご満足いただけるよう準備を進めてまいりますので、多数の皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

第19回日本プライマリ・ケア連合学会四国地方会
令和元年度香川プライマリ・ケア研究会
第26回四国地域医学研究会
合同学術集会

「テーマ」
新時代に向けての総合診療

日時：令和元年11月2日(土)～11月3日(日)
会場：サンポートホール高松

【プログラム】
11月2日(土)
13:50～開会式
14:00～16:50 一般演題
16:55～17:25 特別講演1
(綾川町国民健康保険 陶病院 内科 コルビン 真梨子 先生)
17:30～18:30 特別講演2
(香川大学医学部 循環器・腎臓・脳卒中内科学教授 南野 哲男 先生)
18:35～18:55 四国ブロック支部総会
19:15～懇親会(会場 海越居酒屋 神童ろ(わんじろ))
11月3日(日)
8:30～10:30 ポートフォリオ発表会
10:40～12:30 四国プライマリ・ケア交流会
(終了後 13:00～16:00 指導医講習会が開催されます)

※11月3日は「第2回香川県地域包括ケアシステム学会」近くの会場で開催しますので、時間があるければ是非ご参加ください。

演題募集期間 8月1日(木)～9月2日(月)
参加申込締切 10月4日(金)

主催：日本プライマリ・ケア連合学会四国ブロック支部
共催：香川プライマリ・ケア研究会、四国地域医学研究会
大会長：小豆島中央病院 佐藤清人
事務局 〒761-4301 香川県小豆郡小豆町池田2060-1 小豆島中央病院事務局 担当：森
E-mail: k-mon@scha.jp TEL:0879-75-1214 FAX:0879-75-1131

なお、2日目午後から日本プライマリ・ケア連合学会主催指導医講習会が同会場にて開かれます。こちらは、日本プライマリ・ケア連合学会ホームページ https://www.primary-care.or.jp/nintei_in/kousyu.html からお申込み下さい。

【開催日程】 令和元年11月2日(土) 13時50分～18時55分
令和元年11月3日(日) 8時30分～12時30分

【テーマ】 「新時代に向けての総合診療」

【会場】 サポートホール高松 5階 54会議室

【プログラム】

【第1日目】 11月2日(土)

13:00～13:30 四国地域医学研究会総会

13:50～14:00 開会式

14:00～16:50 一般演題

16:55～17:25 特別講演1

「英国の医学教育・臨床研修と医療制度」

綾川町国民健康保険陶病院内科 コルビン 真梨子 先生

17:30～18:30 特別講演2

「地域で取り組む循環器疾患発症予防」

香川大学医学部循環器・腎臓・脳卒中内科学教授 南野 哲男 先生

18:35～18:55 日本プライマリ・ケア連合学会四国ブロック支部総会

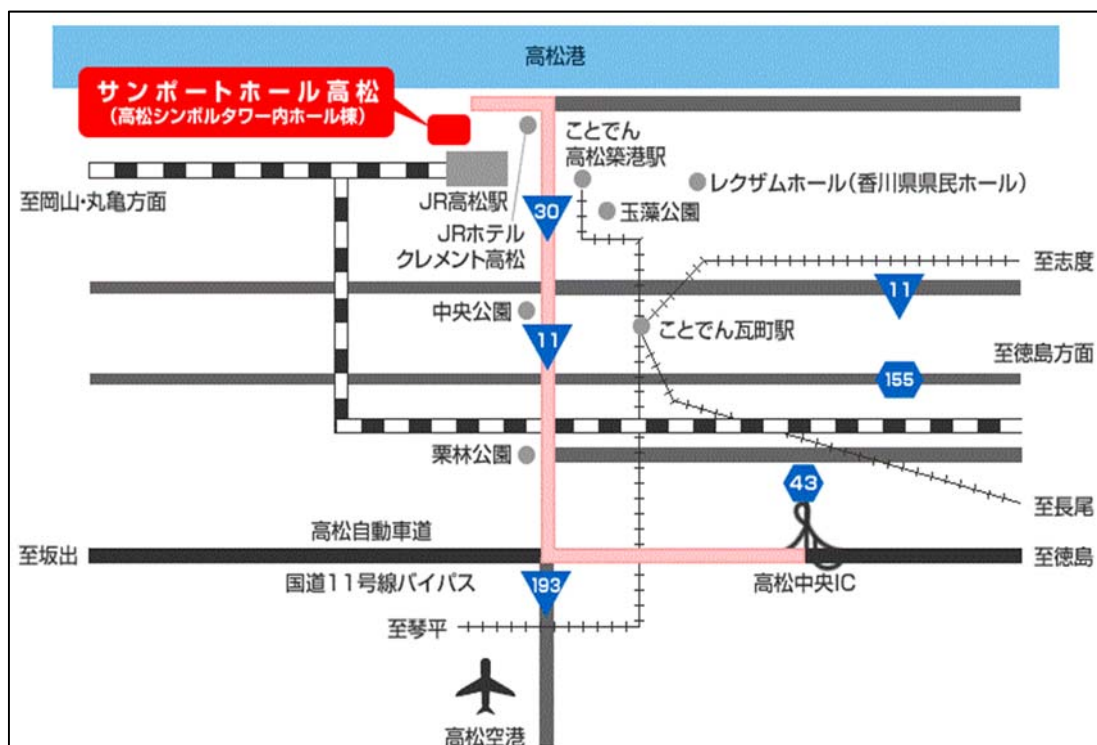
19:15～ 懇親会〔海鮮居酒屋 神童ろ〔わらじろ〕〕

※懇親会の参加は事前申し込みが必要です(10月4日締切)

【第2日目】 11月3日(日)

8:30～10:30 ポートフォリオ発表会

10:40～12:30 四国プライマリ・ケア交流会



★2 第2回香川県地域包括ケアシステム学会学術集会のご案内

四国ブロック支部事務局長・副支部長 大原 昌樹

香川県では、香川プライマリ・ケア研究会に所属する保健・医療・福祉の関係団体に、香川大学、香川県立保健医療大学、産業界、住民組織、行政など地域包括ケアシステムに関わる団体・組織・個人を加えた「香川県地域包括ケアシステム学会」を設立しました。その第2回学術集会を、令和元年11月3日(日)、★1の日本プライマリ・ケア連合学会四国地方会2日目と並行する形で開催します。テーマは、「新時代の地域包括ケアシステムを考える～私たちみんなが元気で活躍できる社会の実現に向けて～」です。

【会場】 サンポート高松国際会議場

【プログラム】 11月3日(日)

9:30～9:45 開会式

9:45～11:00 「地域包括ケアシステムとACPの取り組みについて」坂出市医師会 蔵谷 弘子先生
「地域包括ケア推進とアドバンス・ケア・プランニング(ACP)」

国立長寿医療研究センター在宅医療・地域医療連携推進部長 三浦 久幸先生

11:00～12:00 「経済産業省のヘルスケア産業政策―生涯現役社会の実現を目指して―」

経済産業省商務・サービスグループヘルスケア産業研究官 仁賀 建夫氏

12:50～14:50 一般演題(22題、国際会議場およびサンポートホール高松61会議室)

15:00～17:00 シンポジウム

基調講演「地域共生社会政策時代における地域包括ケアとコミュニティソーシャルワーク」

日本社会事業大学名誉教授 大橋 謙策氏

報告 医師会を中心とした医療介護連携、行政との連携 丸亀市医師会、綾歌地区医師会

総合討論 香川県医師会長、香川大学長、県健康福祉部長、大橋氏、他

参加希望の方は、四国ブロック会員に送付した申込書、または、香川県地域包括ケアシステム学会ホームページの申込書に記入して学会事務局までお願いいたします。日本プライマリ・ケア連合学会四国地方会の参加申し込みとは別ですのでご注意ください。一部参加でも結構ですので、皆様の参加をお待ちしております。

★3 2019年度第2回高知家総合診療専門研修プログラムポートフォリオ発表会、総合診療セミナー開催予告

高知大学医学部家庭医療学講座 福留恵子

10月12日(土)に高知市文化プラザかるぽーとで第2回ポートフォリオ発表会を開催します。この時は同時に総合診療セミナーも開催します。

セミナーでは東京大学大学院医学系研究科 医学教育国際研究センター密山要先生を講師にお迎えして「地域ケア」についてのワークショップを行います。「地域ケア」はポートフォリオを作成する上で少しハードルが高く感じる専攻医の先生方も多いのではないのでしょうか。もちろん、指導医の先生方にも学ぶことが多いと思います。ぜひたくさんの方にご参加いただき、家庭医・総合医の学びや教育についてお互いに理解を深めていけたらいいなと考えています。

四国ブロック支部の皆さまなど広くご参加いただけますようお願いしております。なお、この発表会、セミナーは専門医・認定医更新のための単位、プライマリ・ケア認定薬剤師の認定単位が取得可能の予定です。

高知家総合診療
専門研修プログラム
2019年度第2回
ポートフォリオ発表会 &
総合診療セミナー

日時 10月12日(土) 13時～17時

13時～: ポートフォリオ発表会

15時～: 総合診療セミナー「地域志向ケア」
～総合診療医の現状と期待について～

講師: 東京大学大学院
医学系研究科 医学教育国際研究センター
密山要先生

場所: 高知市文化プラザかるぽーと 第1学習室

お問い合わせ先: 高知大学医学部家庭医療学講座 福留恵子先生
E-Mail: hiromi@ipc.ku.ac.jp

★4 2019年度 第1回高知家総合専門研修プログラムポートフォリオ発表会を開催

高知大学医学部家庭医療学講座 福留恵子

7月20日(土)に高知家総合診療専門研修プログラムの主催によるポートフォリオ発表会を行いました。これまでも日本プライマリ・ケア連合学会認定プログラム(高知県立病院群総合医・家庭医養成後期研修プログラム、高知大学医学部総合医・家庭医養成後期研修プログラム)と合同でポートフォリオ発表会を開催し、3プログラムの専攻医がともに学び合う機会となっていました。今年度からは、日本専門医機構認定の高知家総合診療専門研修プログラムが主催することとなりました。

また、今回は特別に家庭医療学開発センター(CFMD)レジデンスー・東京から専攻医と指導医の先生方、計10名に参加頂きました。参加者は全体で35名となり大変盛り上がる会になりました。

当日は、高知県内の専攻医6名とCFMDレジデンスー東京の専攻医2名に発表をしてもらいました。発表する専攻医の先生方ごとに8グループに分かれて事例についてディスカッションし、その後全員でグループをラウンドしました。今回取り扱った領域は救急・教育・メンタルヘルス・家族志向のケア・患者中心の医療と幅広く、特に救急事例などは高知県特有の医療情勢を反映したものであり、普段都会の診療所での研修が中心となるCFMDの先生方にも地域の特色が伝わるものだったのではないかと感じました。新しい試みでしたがフロアの皆さんからも質問や意見がでて、全体で事例を共有することもでき充実したものになりました。

グループディスカッションの形式にしたことで、プログラムを越えた交流ができたことはもちろんですが、CFMDレジデンスー東京の指導医の先生方はこれまでの豊富な指導経験から、高知の専攻医・指導医にとってもよい刺激となり、有意義な会となりました。



★5 令和元年度愛媛県医学生サマーセミナー(2019年8月19日)

愛媛大学大学院医学系研究科 地域医療学講座(愛媛) 川本 龍一

愛媛県庁にて令和元年度愛媛県医学生サマーセミナーが行われました。対象は愛媛県出身の自治医科大学医学生、愛媛大学医学部地域枠学生、さらには愛媛の地域医療に興味のある医学生です。県内の市町村行政担当者と各病院の院長(新居浜市、大洲市、愛南町)からは地域の魅力や現状に関する発表、卒後県内で研修を受けている地域枠学生や自治医大の卒業生からは研修に関する報告がなされました。

その後、参加者間での交流の後に、各地域のグループに分かれ、地域診断と将来構想に関するワークショップが行われました。

参加者からは、初めて知る地域もあり、愛媛の地域医療に貢献したいという動機づけになったとの意見が多く聞かれました。



★6 第19回愛媛プライマリ・ケア研究会 愛媛大学大学院社会医学コースフォーラム (2019. 6. 29、松山市)
愛媛大学大学院医学系研究科 地域医療学講座 (愛媛) 川本 龍一

6月29日午後4時から3時間にわたり第19回愛媛プライマリ・ケア研究会を開催しました。およそ40名の参加者で、学生も10名近く参加していました。

一般演題では、以下のごとくそれぞれの現場からプライマリ・ケアにおける興味深い内容の演題が発表されました。一般演題1では病院入院時の急変時 DNAR が外来救急に適応してもよいかどうかについての問題提議、演題2では家庭医療専攻研修の一環として赴任した診療所で、喫煙に対して十分な予防的ケアがなされていないことに対して、地域ヘルスプロモーションの考え方を応用しながら一定数の集団を対象に予防的アプローチを行った成果について、演題3では愛媛県の死因は、全国統計と同様に1位悪性新生物、2位心疾患、3位脳血管疾患、4位老衰、5位肺炎となっている。この上位死因に対してどういった予防が行えるかを U.S. Preventive Services Task Force と日本のガイドラインを交えた紹介、演題4では「平成30年7月豪雨」被災地病院としての医療活動報告がなされました。

特別講演では「高齢社会における地域医療の今」と題して地域医療学センター地域医療学部門教授：小谷和彦先生より、少子高齢化や人口減少の進行とともにそれぞれの「地域」の実情に見合った医療体制の構築が求められており、その中において住民の役割がいかに重要か、各地域を事例にお話いただきました。一般演題および特別講演も夏の暑さを吹き飛ばすような熱のこもった内容でした。



一般演題：

演題 1 高齢者救急診療における急変時の対応

西予市立野村病院内科：赤瀬太一

演題 2 Panel Management により地域の喫煙問題に対しハイリスクアプローチを行った活動報告

愛媛県立中央病院総合診療科 /医療福祉生協連家庭医療後期研修 レジデ ンシーせとうち：水本潤希

演題 3 プライマリー・ケア従事者に知って欲しい公衆衛生学的アプローチと地域医療に不可欠な EBPH

愛南町国保一本松病院/Rollins School of Public Health, Emory University Executive MPH Program: 嶋本純也

演題 4 「平成30年7月豪雨」被災地病院としての医療活動報告

愛媛大学大学院医学系研究科地域医療学講座：二宮大輔

特別講演：「高齢社会における地域医療の今」

地域医療学センター地域医療学部門教授：小谷和彦先生

★7 第24回徳島地域医療教育研究会が開催

徳島大学病院総合診療部教授 谷 憲治

第24回目となる恒例の徳島地域医療教育研究会 (年に2回開催) をクレメントホテル徳島で開催しました。

今回は、今年の4月～6月の選択実習 I、II、III で地域医療実習を選択した医学科6年生8名による実習報告会を行いました。4週間かけて徳島県内の様々な地域医療機関、あるいは長崎五島列島や新潟で行った実習内容をパワーポイントを使って楽しく報告してくれました。徳島大学医学生サークルである地域医療研究会 T-CoM 所属学生、地



域医療で診療と医学生教育に関わっていただいている先生方、および徳島大学の当教室スタッフ、計 51 名が聴衆として参加し、今後のよりよい実習に向けての情報交換の場となりました。

今回初めて実習指導に参加していただいた地域医療機関の先生からは来年からの実習内容に向けて参考になったという意見をいただき、医学科 1、2 年生の低学年の学生からは高学年になっての地域医療実習選択の魅力や必要性が理解できたとの意見ももらいました。その後は懇親会も開催され、地域医療の現場と医学生教育に関わる先生方と地域医療に関心の高い医学生との交流の場にもなりました。



★8 「2019 年秋のポートフォリオ発表会のお知らせ」と「四国ブロック 指導医講習会のお知らせ」

愛媛生協病院 原 穂高

今年も四国ブロック地方会にポートフォリオ発表会の機会を頂きました。

2 日目の朝から気分一新、専攻医たちの試行錯誤、成長の記録：ポートフォリオをご覧ください。

<お知らせ>

「2019 年秋のポートフォリオ発表会のお知らせ」と

「四国ブロック 指導医講習会のお知らせ」

2019 年 11 月 3 日(日)午後 (地方会終了後)

2 回目となる、四国ブロック内での指導医講習会を開催いたします。

指導医の新規取得または更新に必要な単位となります。東京や大阪まで出掛けられなくても、四国内で受講できるこの機会をぜひ活用下さい。

受講対象は、①本学会会員で、認定指導医またはこれから認定指導医を取得しようと考えている方です。もしくは②本学会会員でなくても、日本専門医機構が定める総合診療専門研修(特任)指導医とその候補者です。

【注：この講習会は、日本専門医機構が総合診療専門研修指導医の認定要件としている講習会ではありませんのでご注意ください。】

事前に申し込みが必要です。

日本プライマリ・ケア連合学会ホームページの指導医講習会サイトよりお申し込みください。

https://www.primary-care.or.jp/nintei_in/kousyu.html

